

日立金属株式会社

2020年度決算 説明会資料

[目次]

1. 2020年度概要
2. 2020年度セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュフロー
5. 2021年度業績予想

2021年4月26日

1-1. 2020年度概況(1)

- COVID-19影響により、世界各地域における経済・社会活動が大きく制限
- 地域別では、中国は、3Qの経済成長率が前年同期を上回り2020年通年としてプラス成長を維持。米国等では景気持ち直しの動きが見られた
- 市場分野別
 - [自動車]** 20年度は、1QのCOVID-19影響による操業停止などの影響により需要減少したが、2Q以降回復の動きが継続
 - [航空機]** 移動制限により、航空機材の需要減少
 - [FA・ロボット]** FA・ロボット生産は、2Q以降回復の動きが継続
 - [半導体・スマホ]** 5G関連やサーバー機器等の情報通信向けの需要は引き続き堅調。3Q以降からは自動車関連向けの半導体需要が旺盛になり、一部で半導体不足が発生
 - [医療]** COVID-19対応に必要な機器類の需要は堅調

1-2. 2020年度概況(2)

- ・COVID-19影響による需要減少が主要因となり、前年度比減収減益
- ・3Qからの想定を上回る需要回復で、1月28日に20年度業績予想を修正
- ・4Qは、さらに想定を上回り需要回復が継続、売上収益・調整後営業利益共に1月28日の業績予想数値から改善
- ・事業分野別状況
 - [自動車] 前年度比では減少だが、2Qからの需要回復により、工具鋼は年末には在庫が適正化。産機材、自動車鋳物、磁性材料、自動車用電装部品の回復が継続。ただし、北米は半導体不足の影響が若干有
 - [航空機] 航空機材の需要減少により、航空機関連材料が減少
 - [FA・ロボット] 機器電線は2Qから、磁性材料は3Qから需要の回復が継続
 - [半導体・スマホ] 5G関連の設備やサーバー機器等の情報通信向けは堅調が継続。クラッド材がスマホや電池向けで増加。4Qからは半導体パッケージ材料の需要が立ち上がり、足元は好調
 - [医療] CT用シンチレータは好調、医療用プローブケーブルは堅調だが、カテーテル用チューブは減少

1-3. 2020年度に実行した施策

事業構造 改革

- ・不採算製品撤退 特殊鋼:黄銅製品等(2021年3月完了)
素形材:アルミホイール(2020年9月完了)
- ・拠点統廃合 特殊鋼:工具鋼の東日本地区物流倉庫・加工工場の
集約移転(2020年10月稼働)
素形材:Waupaca社ペンシルバニア工場閉鎖・売却
(2021年2月完了)
耐熱鑄造部品事業を子会社に統合
(2021年4月完了)

原価低減 経費縮減

- ・モノづくり改革による歩留まり改善、棚卸資産の適正化
- ・コーポレート横串機能主導による材料費、経費縮減

人件費 適正化

人員構成の最適化(臨時員適正化、早期退職募集の実施等)

1-4. 業績

金額単位：億円 (斜体文字は利益率)	2019年度 (A) 実績		2020年度 業績予想 (2021年1月28日公表値)		2020年度 (B) 実績		増減 前年度比
	1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円		1\$=105円 1€=120円 1元=15.0円		1\$=106円 1€=124円 1元=15.7円		(B/A-1) × 100 [%] またはB-A
売上収益	8,814		7,500		7,616		△14%
調整後営業利益*	<i>1.6%</i> 144		<i>△1.3%</i> △100		<i>△0.7%</i> △50		△194
IFRS営業利益	<i>△4.4%</i> △391		— —		<i>△6.5%</i> △492		△101
税引前当期利益	△406		△570		△506		△100
親会社株主に 帰属する当期利益	△376		△460		△423		△47

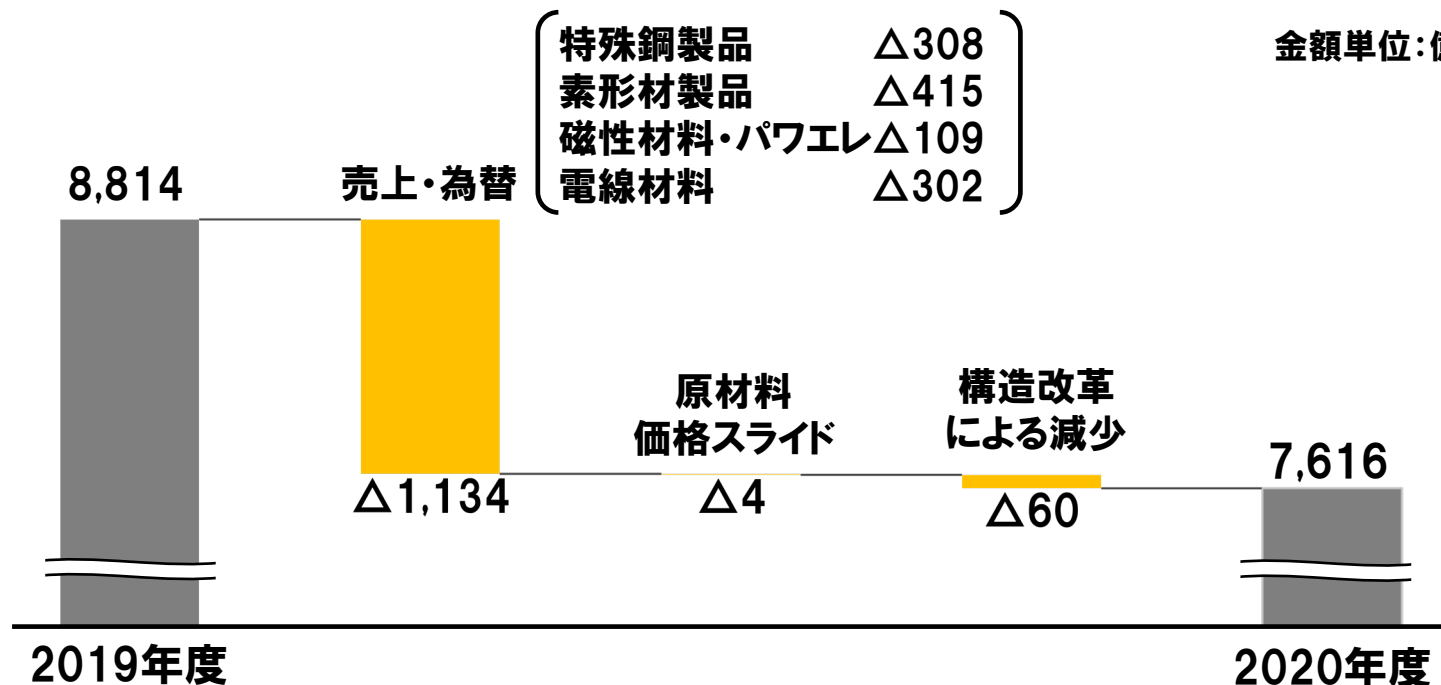
*: 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

地域別売上

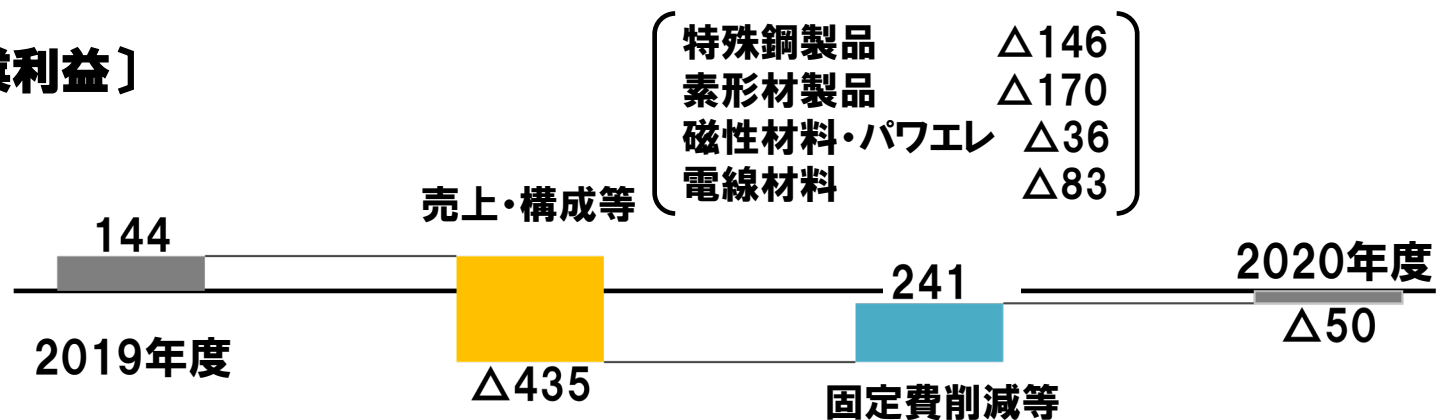
金額単位：億円		日本	北米	中国	その他アジア	欧州	その他
2019年度	売上収益	4,054	2,453	634	1,028	445	200
	売上比率	46%	28%	7%	12%	5%	2%
2020年度	売上収益	3,428	2,071	723	886	354	154
	売上比率	45%	27%	9%	12%	5%	2%
売上収益 前年度比		△15%	△16%	+14%	△14%	△20%	△23%

1-5. 売上収益・調整後営業利益の増減要因(前年度比)

〔売上収益〕

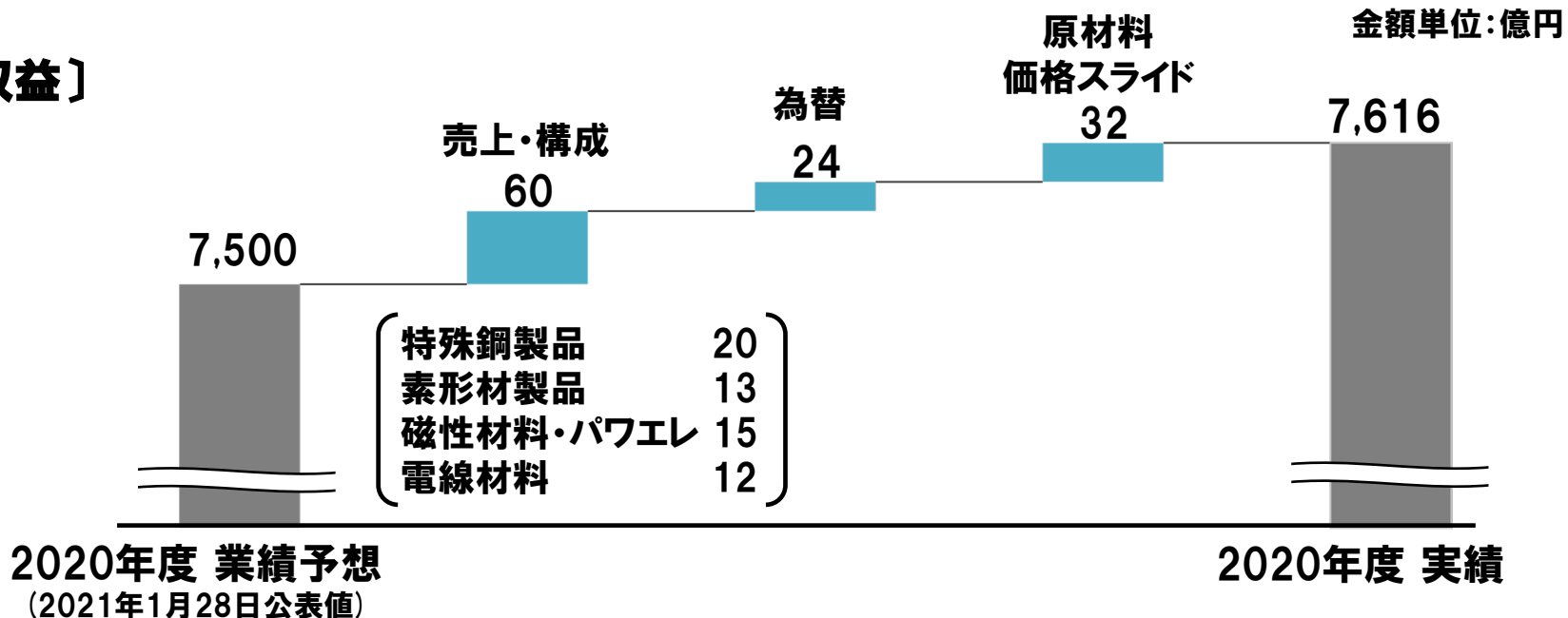


〔調整後営業利益〕

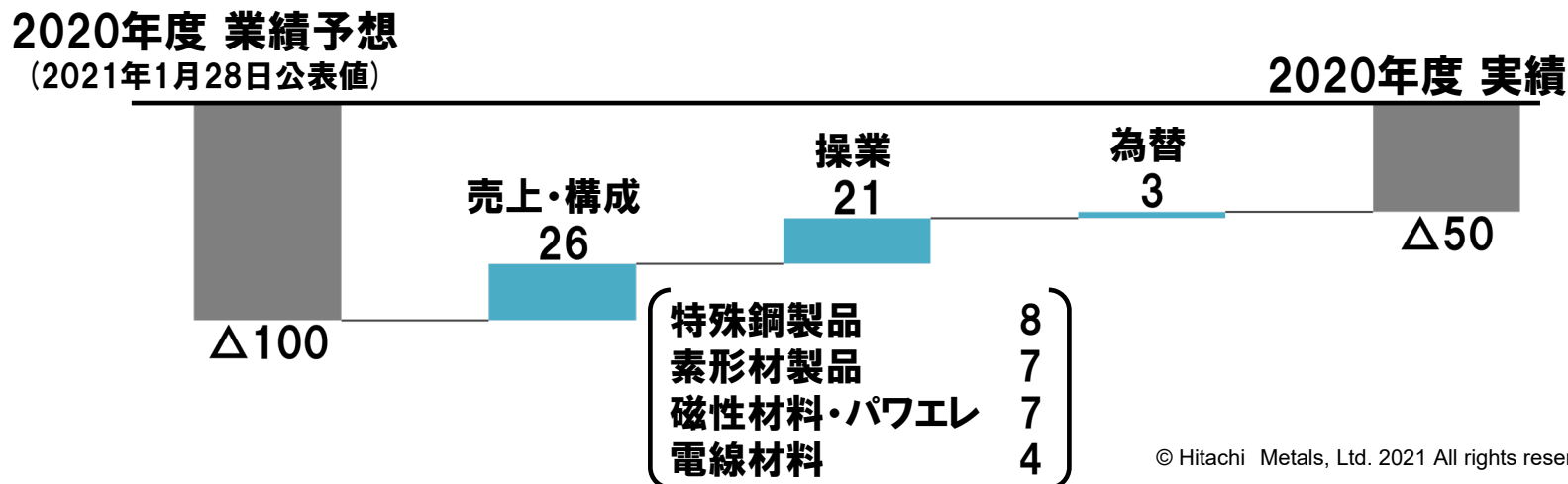


1-6. 売上収益・調整後営業利益の増減要因(業績予想比)

〔売上収益〕



〔調整後営業利益〕



1-7. 調整後営業利益から当期利益の構造

	2019年度	2020年度	増減
調整後営業利益	144	△50	△194
その他の収益・費用	△535	△442	+93
金融収支・持分法投資損益	△15	△14	+1
税前利益	△406	△506	△100
法人税等・非支配持分損益	30	83	+53
親会社株主に帰属する当期利益	△376	△423	△47

2020年度その他の収益・費用の主な項目

・事業再編等利益

三菱日立ツール株式会社の株式譲渡

20億円

Waupaca社ペンシルバニア工場売却

15億円

・減損損失

(磁性材料・パワーエレクトロニクス)

磁石事業

△157億円

(特殊鋼製品)

航空機・エネルギー事業

△121億円

(素形材製品)

米国Waupaca社一部工場

△55億円

(電線材料)

自動車部品事業

△20億円

・早期退職費用

△44億円

日立金属株式会社

2020年度決算 説明会資料

[目次]

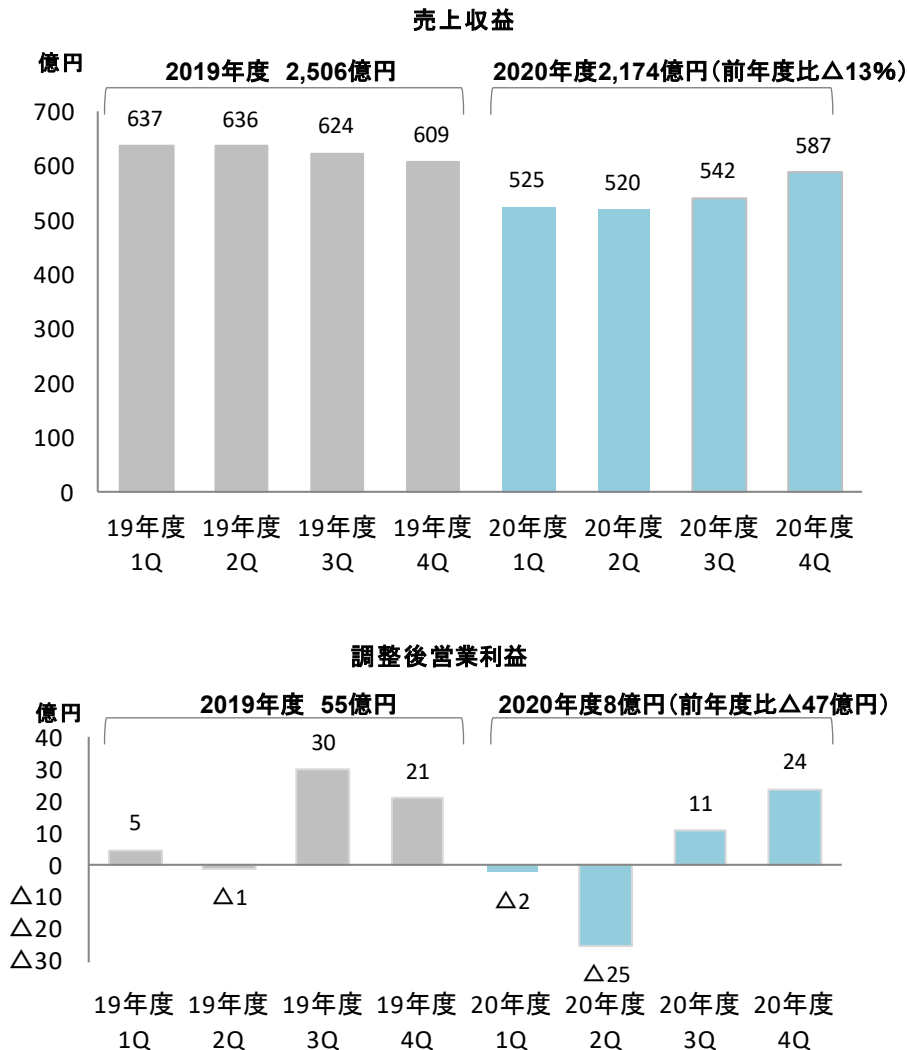
1. 2020年度概要
- 2. 2020年度セグメント別業績**
3. 財政状態
4. 連結キャッシュフロー
5. 2021年度業績予想

2-1. セグメント別業績

金額単位:億円 (斜体文字は利益率)		2019年度 実績	2020年度 業績予想 (2021年1月28日公表値)	2020年度 実績	増減 前年度比
金属材料	売上収益	2,506	2,140	2,174	△13%
	特殊鋼製品 調整後営業利益	2.2% 55	△1.2% △25	0.4% 8	△47
	IFRS営業利益	3.0% 76	- -	△5.5% △120	△196
	売上収益	2,997	2,440	2,479	△17%
	素形材製品 調整後営業利益	△0.3% △9	△4.9% △120	△5.2% △128	△119
	IFRS営業利益	△3.1% △92	- -	△7.7% △191	△99
	売上収益	5,503	4,580	4,653	△15%
	小計* 調整後営業利益	0.8% 46	△3.2% △145	△2.6% △120	△166
	IFRS営業利益	△0.3% △16	- -	△6.7% △311	△295
機能部材	売上収益	1,168	1,040	1,061	△9%
	磁性材料・ パワー エレクトロニクス 調整後営業利益	1.2% 14	1.0% 10	2.4% 25	+11
	IFRS営業利益	△36.6% △428	- -	△13.3% △141	+287
	売上収益	2,133	1,870	1,892	△11%
	電線材料 調整後営業利益	3.1% 67	1.9% 35	2.4% 46	△21
	IFRS営業利益	2.5% 53	- -	1.0% 18	△35
	売上収益	3,301	2,910	2,953	△11%
	小計* 調整後営業利益	2.5% 81	1.5% 45	2.4% 71	△10
	IFRS営業利益	△11.4% △375	- -	△4.2% △123	+252
その他・調整額	売上収益	10	10	10	-
	調整後営業利益	17	0	△1	△18
	IFRS営業利益	0	-	△58	△58
合計	売上収益	8,814	7,500	7,616	△14%
	調整後営業利益	1.6% 144	△1.3% △100	△0.7% △50	△194
	IFRS営業利益	△4.4% △391	- -	△6.5% △492	△101

*:セグメント間相殺前の単純合計値

2-2. セグメント別業績: 特殊鋼製品(1)



【売上収益】

(前年度比)

・工具鋼

国内外で需要減少。年末には流通を含む在庫が適正化、4Qから需要回復が見られる

・産機材

前年度対比では需要減少。自動車関連が2Q以降需要回復がはじまり4Qでは前年同期並み

・航空機・エネルギー関連材料

航空機関連材料が民間需要を中心に減少

・電子材

有機ELパネル関連部材が伸長、クラッド材はスマホや電池向けで増加したことに加え、4Qより半導体パッケージ材料の需要も立ち上がり前年度比増収

・ロール

各種ロール、射出成形機用部品、鉄骨構造部品とも需要減少

【調整後営業損益】

主力の工具鋼や産機材の需要減少により減益

【IFRS営業損益】

航空機・エネルギー事業の減損により減益

2-3. セグメント別業績:特殊鋼製品(2)

金額単位:億円	2019年度 通期	2020年度				2020年度 通期	増減 前年度比
		1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		
売上収益	2,506	525	520	542	587	2,174	△13%
特殊鋼*1	2,261	470	466	495	536	1,967	△13%
ロール*1	246	55	54	47	51	207	△16%
調整後営業利益	55	△2	△25	11	24	8	△47
調整後営業利益率	2.2%	△0.4%	△4.8%	2.0%	4.1%	0.4%	△1.8pt
IFRS営業利益	76	15	△101	6	△40	△120	△196

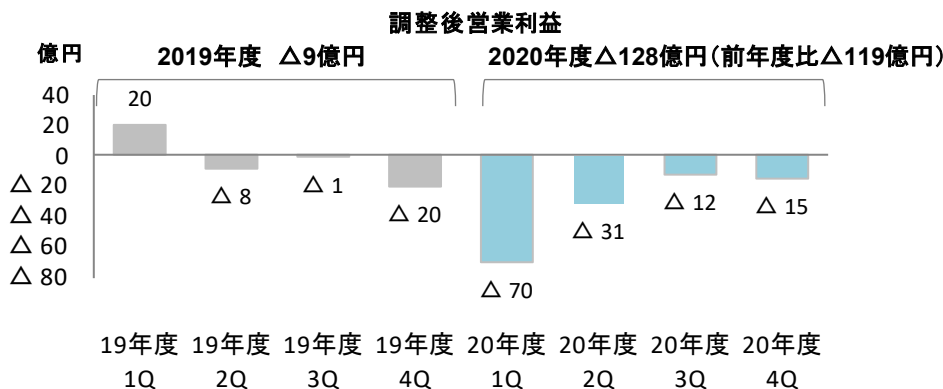
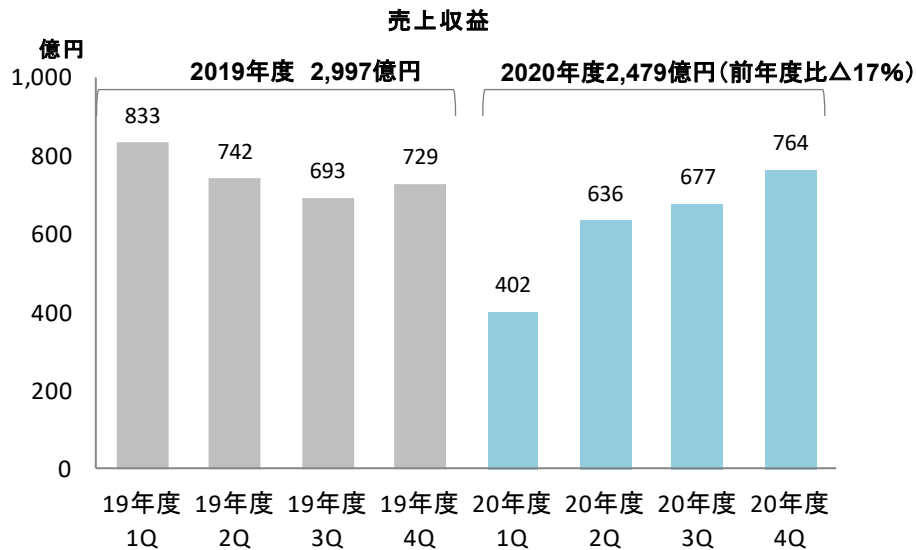
製品別増減(前年同期比)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
工具鋼*2	△30%	△32%	△21%	△4%	△22%
産機材*2	△27%	△23%	△13%	+2%	△16%
航空機・エネルギー*2	△34%	△37%	△45%	△53%	△42%
電子材*2	0%	△2%	+4%	+9%	+3%
ロール*3	△10%	△12%	△27%	△14%	△16%

*1:セグメント間相殺前の単純合計値

*2:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

*3:セグメント間相殺前の単純合計値の増減比を表示

2-4. セグメント別業績:素形材製品(1)



【売上収益】

(前年度比)

・自動車用鋳物

鋳鉄製品:

1Qは世界各地の主要顧客の操業停止影響等により大きく落ち込み。その後、各地域の自動車販売台数の回復や生産再稼働により、回復基調継続。4Qは北米で自動車向け半導体の供給不足に伴う完成車メーカー生産調整の影響を受けた

耐熱鋳造部品:

3Q以降、前年同期を上回って推移したが、1Qの落ち込みが大きく減収

・配管機器

継手類:

国内の住宅着工戸数や大規模建設工事案件の減少により、減収

半導体製造装置用機器:

設備投資需要の回復等により増収

【調整後営業損益】

主力の自動車鋳物事業の需要が減少したことおよびサービスパーツの在庫評価減により減益

【IFRS営業損益】

調整後営業損失に加え、Waupaca社の一部工場の減損により減益

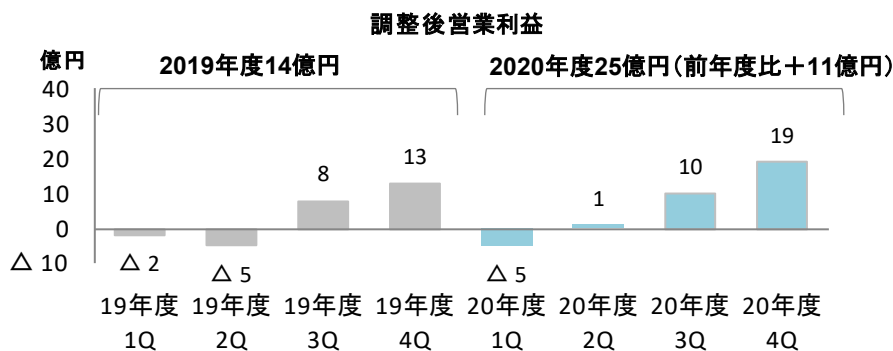
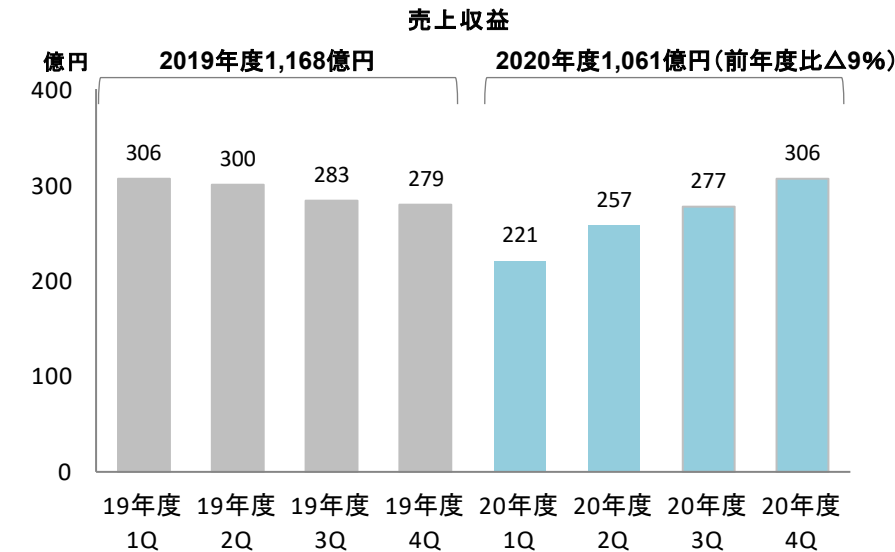
2-5. セグメント別業績：素形材製品(2)

金額単位:億円	2019年度	2020年度				2020年度	増減 前年度比
	通期	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	通期	
売上収益	2,997	402	636	677	764	2,479	△17%
自動車铸件*	2,538	304	535	564	655	2,058	△19%
Waupaca社*	1,822	222	398	394	478	1,492	△18%
配管機器*	459	98	101	113	109	421	△8%
調整後営業利益	△ 9	△ 70	△ 31	△ 12	△ 15	△ 128	△119
調整後営業利益率	△0.3%	△17.4%	△4.9%	△1.8%	△2.0%	△5.2%	△4.9pt
IFRS営業利益	△ 92	△ 73	△ 41	△ 20	△ 57	△ 191	△99

*:セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
鑄鉄製品 [Waupaca社] (重量)	△55%	△10%	+2%	+0%	△18%
鑄鉄製品 [その他] (重量)	△57%	△20%	△10%	△2%	△23%
耐熱鑄造部品ハーキュナイト® (重量)	△29%	△9%	+21%	+14%	+0%

2-6. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(1)



【売上収益】

(前年度比)

・磁性材料

希土類磁石およびフェライト磁石:

1Qを底に需要が大きく落ち込んだが、2Q以降自動車用電装部品の需要回復が継続。3QからはFA・ロボットやエレクトロニクス関連需要も回復基調となり4Qでは前年同期を上回るが、前年度比では減収

・パワーエレクトロニクス

軟磁性材料およびその応用品:

サーバー機器の情報通信向けが堅調だが、変圧器用のアモルファス金属材料の需要減により減収

セラミックス製品:

医療機器向けの需要が増加したが、通信機器向けの需要減により前年度並み

【調整後営業利益】

需要増、減価償却費減により増益

【IFRS営業損益】

19年度426億円の減損を計上
20年度157億円の減損を計上

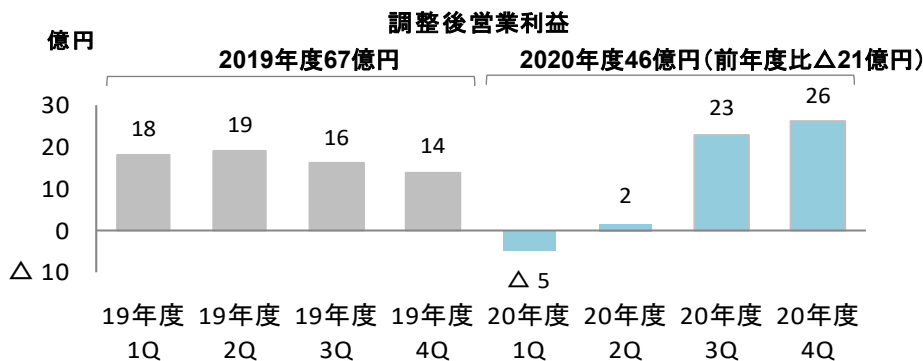
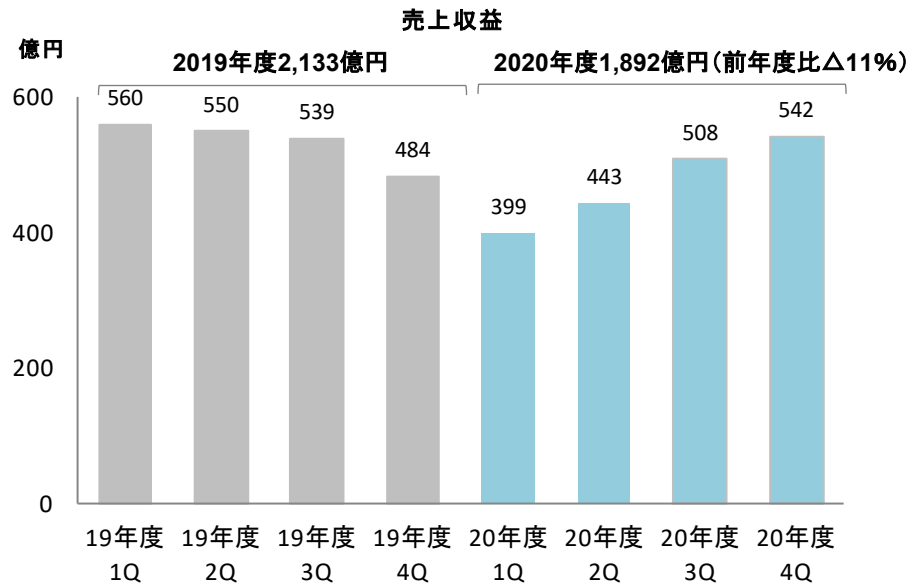
2-7. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(2)

金額単位: 億円	2019年度 通期	2020年度				2020年度 通期	増減 前年度比
		1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		
売上収益	1,168	221	257	277	306	1,061	△9%
磁性材料*	796	136	170	188	209	703	△12%
パワーエレクトロニクス*	371	85	87	90	96	358	△4%
調整後営業利益	14	△ 5	1	10	19	25	+11
調整後営業利益率	1.2%	△2.3%	0.4%	3.6%	6.2%	2.4%	+1.2pt
IFRS営業利益	△ 428	△ 5	△ 156	9	11	△ 141	+287

*:セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
希土類磁石(重量)	△36%	△21%	△2%	+3%	△15%
フェライト磁石(重量)	△39%	△21%	+3%	+4%	△13%

2-8. セグメント別業績:電線材料(1)



【売上収益】

(前年度比)

自動車用電装部品を中心に需要減少し、減収

・電線

鉄道車両用電線:

国内需要は減少したが、中国向け需要が増加し増収

医療:

医療用プローブケーブルは前年度並みだが、カテーテル用チューブが減少

機器用電線:

FA・ロボット向けや5G基地局等の需要が増加

巻線:

3Q以降自動車向け中心に回復が見られたが、減収

・自動車部品

自動車市場の回復を受けて、自動車用電装部品を中心に需要が回復、3Q以降は前年同期を上回るが、1Qの落ち込みが大きく減収

【調整後営業損益】

電線、自動車部品とも需要減少により減益

【IFRS営業損益】

自動車部品事業で20億円の減損計上により減益

2-9. セグメント別業績:電線材料(2)

金額単位:億円	2019年度	2020年度				2020年度	増減
	通期	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	通期	前年度比
売上収益	2,133	399	443	508	542	1,892	△11%
調整後営業利益	67	△5	2	23	26	46	△21
調整後営業利益率	3.1%	△1.3%	0.5%	4.5%	4.8%	2.4%	△0.7pt
IFRS営業利益	53	△3	△17	24	14	18	△35

製品別増減(前年同期比)		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
成長分野	鉄道*	△15%	+10%	+14%	+6%	+3%
	医療*	+14%	△11%	△15%	△15%	△6%
	FA・ロボット*	+7%	+3%	+27%	+34%	+18%
	巻線*	△27%	△19%	+4%	+14%	△7%
	電装部品*	△49%	△13%	+9%	+21%	△10%

*:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

成長分野売上割合 2019年度 40%
2020年度 42%

3. 財政状態

金額単位:億円	2019年度末	2020年度末	増減
	1\$=109円 1€=120円 1元=15.3円	1\$=111円 1€=130円 1元=16.8円	
資産合計	9,778	9,722	△56
売上債権	1,577	1,676	+99
棚卸資産	1,799	1,701	△98
有形無形固定資産	4,993	4,449	△544
負債合計	4,549	4,801	+252
有利子負債	1,876	1,953	+77
親会社株主持分	5,203	4,897	△306
非支配持分	26	24	△2
親会社株主持分比率	53.2%	50.4%	△2.8pt
D/Eレシオ(倍)	0.36	0.40	+0.04
NET有利子負債*	1,452	960	△492

*:NET有利子負債=有利子負債 - 現金及び現金同等物

棚卸資産: 需要に応じた投入抑制の継続により減少
固定資産: 減損損失を計上したことにより減少
親会社株主持分: 当期損失影響により利益剰余金が減少

4. 連結キャッシュ・フロー

金額単位:億円	2019年度	2020年度	前年度比
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	1,060	526	△534
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	△ 565	22	+587
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	495	548	+53
コア・フリー・キャッシュ・フロー*	451	225	△226

*: コア・フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動に関するキャッシュ・フロー - 資本的支出

[営業CF] 主に利益減少の影響が大きく、△534億円

[投資CF] 主に固定資産投資の厳選等+308億円、持分法適用会社売却等による収入+262億円

[FCF] 投資の厳選および持分法適用会社売却等による収入により
前年同期比+53億円の改善

日立金属株式会社

2020年度決算 説明会資料

[目次]

1. 2020年度概要
2. 2020年度セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュフロー
5. 2021年度業績予想

5-1. 2021年度業績予想(1)

業績予想の前提

1. 経済成長・需要見通し

- 2021年世界実質GDP成長率6.0%(2020年は△3.3%)※1
- 世界自動車生産2021年8,470万台(前年比+14%)※2

2. 事業環境

- 自動車、エレクトロニクス、産業インフラの各分野において需要回復が見込まれる
- 半導体不足による自動車生産等への影響やコンテナ不足などの物流混乱の影響は、業績予想に一部織り込むも、さらなる拡大を懸念
- COVID-19影響は、ワクチン接種拡大により低減される可能性があるものの、現時点で見通すことは非常に困難なため、感染の再拡大により、顧客や当社において操業停止等が発生するリスクやその影響は予想には織り込まず

2021年度の売上収益は8,500億円(前年度対比+12%)、調整後営業利益340億円(前年度対比+390億円)、調整後営業利益率4%を予想

※1 出典:IMF 2021年4月「世界経済見通し(WEO)」

※2 出典:各種資料を参考に当社推定

5-2. 2021年度業績予想(2)

(1) 業績予想

金額単位:億円 (斜体文字は利益率)	2020年度	2021年度	前年度比
	実績 1\$=106円 1€=124円 1元=15.7円	予想 1\$=100円 1€=120円 1元=15.5円	
売上収益	7,616	8,500	+12%
調整後営業利益	<i>△0.7%</i> 50	<i>4.0%</i> 340	+390
税引前当期利益	△506	170	+676
法人税等・非支配持分損益	83	△50	△133
親会社株主に帰属する当期利益	△423	120	+543

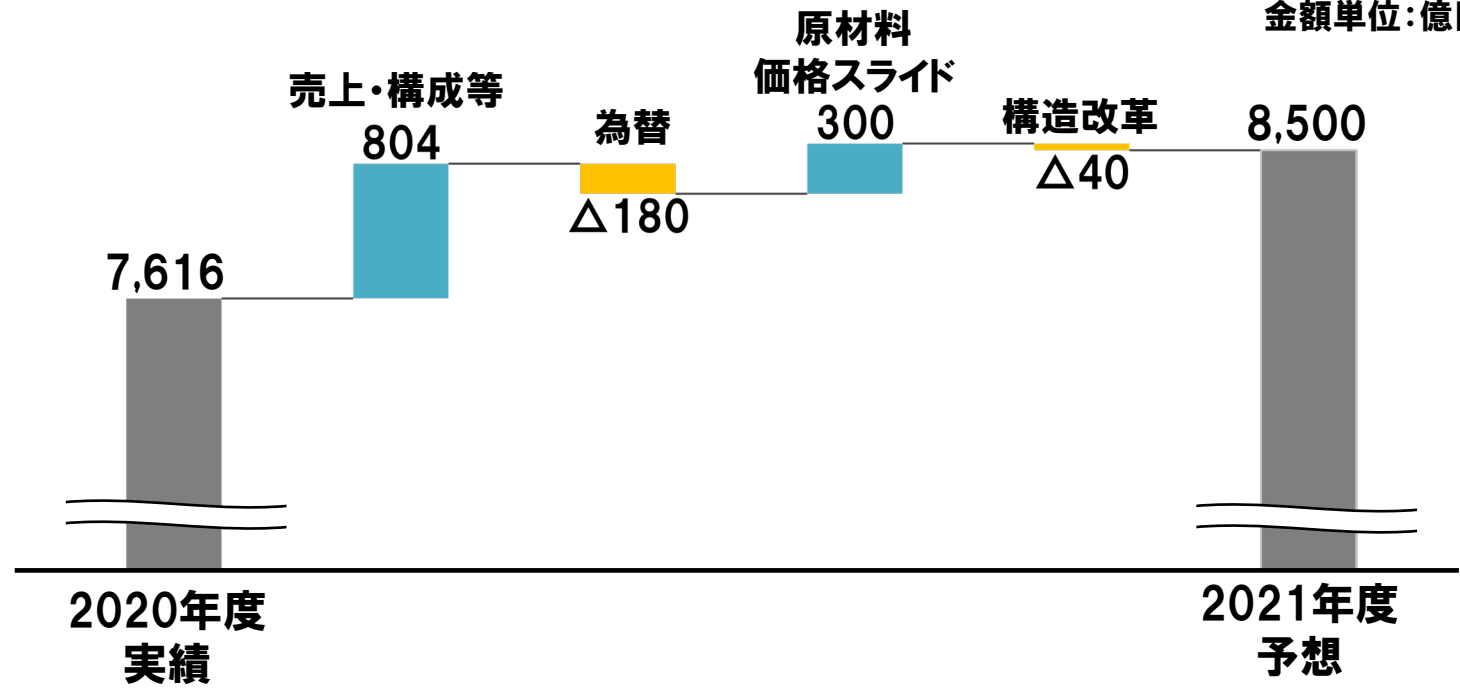
(2) 配当予想

年度	中間	期末	年間
2019	13円	13円	26円
2020	0円	0円	0円
2021(予想)	—	—	—

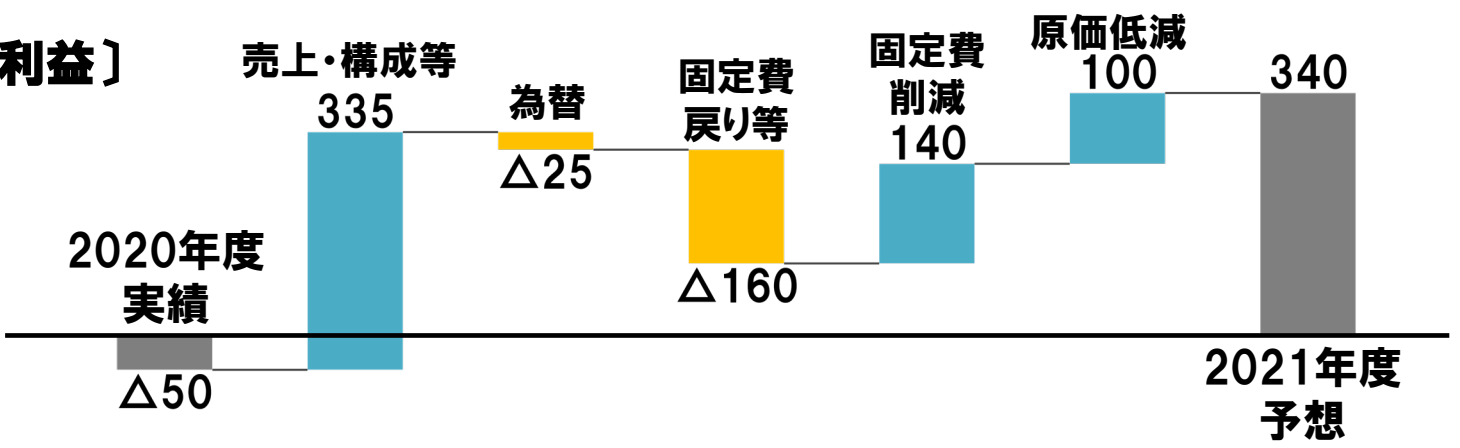
5-3. 増減要因

金額単位：億円

〔売上収益〕



〔調整後営業利益〕



5-4. セグメント別業績予想

金額単位：億円 (斜体文字は利益率)		2020年度 実績		2021年度 予想		前年度比
金属材料	特殊鋼製品	売上収益	2,174	2,450	+13%	
		調整後営業利益	<i>0.4%</i> 8	<i>5.5%</i> 135	+127	
		ROIC ^{*2}	0.2%	4.7%	+4.5pt	
	素形材製品	売上収益	2,479	2,650	+7%	
		調整後営業利益	<i>△5.2%</i> △128	<i>1.5%</i> 40	+168	
		ROIC ^{*2}	—	1.3%	—	
小計 ^{*1}	売上収益	4,653	5,100	+10%		
	調整後営業利益	<i>△2.6%</i> △120	<i>3.4%</i> 175	+295		
	ROIC ^{*2}	—	3.0%	—		
機能部材	磁性材料・ パワー エレクトロニクス	売上収益	1,061	1,240	+17%	
		調整後営業利益	<i>2.4%</i> 25	<i>7.3%</i> 90	+65	
		ROIC ^{*2}	1.6%	6.2%	+4.6pt	
	電線材料	売上収益	1,892	2,170	+15%	
		調整後営業利益	<i>2.4%</i> 46	<i>3.5%</i> 75	+29	
		ROIC ^{*2}	3.7%	6.8%	+3.1pt	
小計 ^{*1}	売上収益	2,953	3,410	+15%		
	調整後営業利益	<i>2.4%</i> 71	<i>4.8%</i> 165	+94		
	ROIC ^{*2}	2.6%	6.5%	+3.9pt		
その他・調整額	売上収益	10	△10	—		
	調整後営業利益	△1	0	+1		
合計	売上収益	7,616	8,500	+12%		
	調整後営業利益	<i>△0.7%</i> △50	<i>4.0%</i> 340	+390		
	ROIC ^{*3}	—	3.9%	—		

*1 セグメント間相殺前の単純合計値

*2 セグメント別ROIC(投下資本利益率) = (調整後営業利益×(1-税率30%)+持分法投資損益)÷(期首期末平均運転資金+期首期末平均固定資産)

*3 ROIC(投下資本利益率) = (調整後営業利益×(1-税率25%)+持分法投資損益)÷(期首期末平均有利子負債+期首期末平均資本)

5-5. CF、CCC、設備投資額、研究開発費

金額単位:億円	2020年度 実績	2021年度 予想	前年度比
	1\$=106円 1€=124円 1元=15.7円	1\$=100円 1€=120円 1元=15.5円	
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	526	380	△ 146
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	22	△ 290	△ 312
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	548	90	△ 458
キャッシュ・コンバージョン・サイクル（CCC）	89.1日	85.8日	△ 3.3日
設備投資額	288	400	112
うち、品質検査ITシステムの構築	2	30	28
研究開発費	145	155	10

2021年度の主な設備投資

- ・希土類磁石低コストプロセスライン構築
- ・xEV用巻線高速炉
- ・クラッド材生産能力増強
- ・品質検査ITシステムの構築

2021年度の主な研究開発

- ・DX関連テーマ
- ・金属3次元造形
- ・モノづくり支援

再発防止策の進捗

(1) 品質重視に向けた意識改革と行動の変革

- ・トップメッセージの継続発信
- ・品質コンプライアンス強化月間を4月と定め、品質コンプライアンス教育の実施（2021年4月）、全社品質活動理念・品質コンプライアンス強化月間ポスター掲出などの社内への浸透活動を実施

(2) 外部有識者を構成員に含めた「品質コンプライアンス委員会」を、2021年4月1日付で設置し、完了していない部分の追加検証、再発防止策の実施及び効果の検証を開始

(3) 人為的な検査結果の書き換え等を防ぐためのITシステムの構築を推進

- ・24年度までに100億円投資（今年度30億円）

金額単位: 億円	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度	2019年度	2019年度	2019年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2021年度
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	実績	予想
	1\$=108円 1€=119円 1元=16.1円	1\$=111円 1€=130円 1元=16.8円	1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	1\$=110円 1€=123円 1元=16.1円	1\$=107円 1€=119円 1元=15.3円	1\$=109円 1€=120円 1元=15.5円	1\$=109円 1€=120円 1元=15.6円	1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	1\$=108円 1€=118円 1元=15.2円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.4円	1\$=105円 1€=125円 1元=15.8円	1\$=106円 1€=128円 1元=16.4円	1\$=108円 1€=124円 1元=15.7円	1\$=100円 1€=120円 1元=15.5円
売上収益	9,105	9,883	10,234	2,340	2,229	2,141	2,104	8,814	1,548	1,860	2,006	2,202	7,616	8,500
調整後営業利益*1	660	651	514	55	4	59	26	144	△73	△51	38	36	△50	340
調整後営業利益率	7.2%	6.6%	5.0%	2.4%	0.2%	2.8%	1.2%	1.6%	△4.7%	△2.7%	1.9%	1.6%	△0.7%	4.0%
その他の収益	141	54	107	9	9	8	60	86	31	12	13	41	97	-
その他の費用	△118	△242	△197	△12	△441	△38	△130	△621	△22	△283	△45	△190	△540	-
IFRS営業利益	683	463	424	52	△428	29	△44	△391	△64	△322	7	△113	△492	-
EBIT	685	489	453	51	△426	35	△44	△384	△67	△321	5	△109	△492	185
EBITDA	1,115	950	962	191	△284	170	91	168	66	△189	124	11	12	645
税引前当期(四半期)利益	660	470	430	45	△432	30	△49	△406	△71	△324	1	△112	△506	170
親会社株主に帰属する 当期(四半期)利益	506	422	314	32	△442	21	13	△376	△33	△299	△5	△86	△423	120
設備投資額	638	918	954	116	136	146	132	530	72	74	52	90	288	400
減価償却費	430	461	509	139	142	135	136	552	133	132	119	120	504	460
研究開発費	180	177	186	40	42	40	37	159	35	38	35	37	145	155
売上債権	1,756	2,076	1,953	1,967	1,886	1,835	1,577	1,577	1,411	1,575	1,639	1,676	1,676	-
棚卸資産	1,536	1,902	2,148	2,111	1,926	1,929	1,799	1,799	1,835	1,671	1,691	1,701	1,701	-
有利子負債	1,945	1,608	2,021	2,390	2,270	2,281	1,876	1,876	2,151	2,126	1,814	1,953	1,953	1,633
フリー・キャッシュ・フロー	535	△360	△297	△122	163	53	401	495	49	17	120	362	548	90
ROIC*2	7.0%	5.8%	5.3%	-	-	-	-	1.7%	-	-	-	-	-	3.9%
ROE*3	9.8%	7.7%	5.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5%
ROA*4	4.9%	4.0%	2.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3%
CCC*5(日)	71.1	82.7	90.7	-	-	-	-	87.1	-	-	-	-	89.1	85.8
D/Eレシオ(倍)	0.36	0.29	0.34	0.42	0.43	0.43	0.36	0.36	0.42	0.44	0.38	0.40	0.40	0.34
海外売上比率	56%	56%	56%	55%	54%	53%	54%	54%	49%	57%	56%	57%	55%	54%
人 員(人)	28,754	30,390	30,304	30,354	30,201	30,016	29,805	29,805	29,542	29,025	28,730	28,620	28,620	27,750
基本的1株当たり 当期(四半期)利益(円)	118.32	98.72	73.37	7.58	△103.45	4.81	3.01	△88.05	△7.81	△69.86	△1.19	△20.04	△98.90	28.07
1株当たり配当金(円)	26.0	26.0	34.0	-	13.0	-	13.0	26.0	-	0.0	-	-	0.0	-
1株当たり 親会社株主持分(円)	1,254.9	1,316.1	1,375.2	1,345.9	1,238.3	1,244.0	1,216.9	1,216.9	1,195.1	1,119.9	1,117.6	1,145.3	1,145.3	1,112.4

*1 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

*2 [2017年度まで] ROIC(投下資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均親会社株主持分)

[2018年度より] ROIC(投下資本利益率) = (調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益) ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本)

*3 ROE(親会社株主持分当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均親会社株主持分 × 100

*4 ROA(資産合計当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均資産合計 × 100

*5 CCC(運転資金手持日数) = 運転資金 [売上債権 + 棚卸資産 - 買入債務] ÷ 1日平均売上収益

主要製品 重量動向

2019年度1Qを100とした場合の指数

製品	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	累計(予想)	
特殊鋼製品	工具鋼	126	124	109	109	100	103	101	84	66	67	68	86	92
	CVTベルト材	101	107	113	101	100	88	96	105	66	85	83	87	104
	ピストンリング材	112	107	110	105	100	87	101	94	44	46	111	114	99
	有機EL関連部材	105	92	91	83	100	129	185	131	180	179	245	154	250
素形材製品	鋳鉄製品 [Waupaca社]	106	100	95	102	100	90	77	87	45	82	79	88	78
	鋳鉄製品 [その他]	99	95	103	95	100	92	94	87	43	73	85	85	94
	耐熱鋳造部品 ハーキュナイト®	160	140	131	114	100	123	117	120	71	110	141	137	128
磁性材料 ・ パワー エレクトロニクス	希土類磁石	110	110	103	96	100	95	90	86	64	75	88	89	94
	フェライト磁石	115	112	108	105	100	98	98	101	61	77	101	105	94
	アモルファス金属材料 Metglas®	115	100	96	104	100	84	78	63	51	63	76	78	86
電線材料	電装部品*	102	111	115	99	100	97	94	83	51	84	103	101	98

* 電装部品は、簡易的な方法により集計した売上収益(為替影響を除外した金額)の指数

(参考) マーケット分野別事業構造(2020年10月～)

■ 事業ポートフォリオ

事業本部	事業セグメント	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
金属材料	特殊鋼製品	タービンケース 工具鋼	特殊鋼 CVTベルト材	クラッド材 リードフレーム材
	素形材製品	ロール 圧延用ロール	自動車鋳物 鋳鉄製品 耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]	
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	ネオジウム磁石 [NEOMAX®]	磁性材料 アモルファス金属 [Metglas®]	フェライト磁石 [NMF®] 窒化ケイ素基板
	電線材料	鉄道車両用電線 FA・ロボット用ケーブル	電線 自動車部品 電動パーキングブレーキ用ハーネス	
		管継手 ガス用ポリエチレン配管システム	配管機器	

(参考) 日立金属の事業構造(2020年10月～)

■ 日立金属の事業構造

事業本部	事業セグメント	事業部門	主要製品
金属材料	特殊鋼製品	特殊鋼	工具鋼、自動車関連材料、剃刃材および刃物材、精密鋳造品、航空機・エネルギー関連材料、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料、電池用材料
		ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	素形材製品	自動車鋳物	ダクタイル鋳鉄製品[HNM®]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、アルミニウム部品
		配管機器	設備配管機器(∪®印各種管継手・各種バルブ、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	磁性材料	希土類磁石[NEOMAX®]、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品
		パワーエレクトロニクス	軟磁性材料(アモルファス金属材料[Metglas®]、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]、ソフトフェライト)およびその応用品、セラミックス製品
	電線材料	電線	産業用電線、機器用電線、電機材料、ケーブル加工品
		自動車部品	自動車用電装部品、ブレーキホース

当社の業績は事業セグメント区分により開示しております。

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

- 製品需要及び市場環境等に係るリスク
- 競争優位性及び新技術・新製品の開発・事業化に係るリスク
- 原材料等の調達に係るリスク
- 為替レートの変動に係るリスク
- 海外への事業展開に係るリスク
- 有形固定資産やのれん等の固定資産の減損損失に係るリスク
- 製品の品質に係るリスク
- M&Aに係るリスク
- 資金調達に係るリスク
- 親会社との関係に係るリスク
- 情報セキュリティに係るリスク
- 環境規制等に係るリスク
- 事業再編等に係るリスク
- 知的所有権に係るリスク
- 人材確保に係るリスク
- 法令・公的規制に係るリスク
- 地震、その他自然災害等に係るリスク
- 退職給付債務に係るリスク